



発行  
愛知県立春日台特別支援学校  
春日井市神屋町 713-8  
Tel (0568)41-8751

卒業おめでとう

校長 加藤守松

日差しもすっかりやわらかくなり、学校を囲む四方の山もすっかり春めいてまいりました。今年も、幼稚部一名が修了、小学部十七名、中学部二十名、高等部四十八名の計八十五名が卒業を迎えました。修了児、卒業生の皆さん、修了・卒業おめでとうございます。幼稚部修了児、小学部卒業生の皆さんは、少しずつ日常生活が整い、友達と仲良く遊んだり、落ち着いて学習に取り組んだりできるようにになりました。中学部卒業生の皆さんは、作業学習を通して友達と協力して働くことについて、学んできました。高等部卒業生の皆さんは、校内実習・産業現場等における実習や部活動に取り組み、卒業後の生活に備えてきました。皆さんが、

いつまでも校訓にあるように「元氣な子」、「仲良くする子」、「がんばる子」として活躍できることを期待

しています。

保護者の皆様、お子様の修了・卒業誠におめでとうございます。新しい生活を迎えるお子様をこれからもあたたく見守り頂きたいと思えます。また、これからも本校の教育活動への御理解と御協力を引き続きよろしくお願いいたします。



贈る言葉

〜新たな道を進む修了児・卒業生〜

幼・小学部

小学部主事 柴山清隆

幼稚部さん、修了おめでとう。小学部六年生の皆さん、卒業おめでとう。学校生活は楽しい思い出がいっぱいできましたか。

先生は、皆さんの笑った顔、泣いた顔、怒った顔や驚いた顔。そのすべてが大好きです。たくさん思い

出を大切に、それぞれの道を元気に進んでください。いろいろな顔がこれからもいっぱい輝くことを先生は願っています。



小学部六年生卒業制作

小学部六年生は、卒業制作としてコースターを作りました。コルクに千代紙を貼り付けたり、メッセージカードを切ったりするなど、それぞれの制作過程の作業をみんなで見守り、自分のできることを頑張りました。どれも心のこもった、味のある作品となりました。最後のラッピングでは、幼稚部修了児と協力しました。在校生と小学部の先生方へ、お世話になったお礼としてプレゼントしました。



中学部

中学部主事 守矢茂樹

中学部三年生二十名の皆さん、御卒業おめでとうございます。

とても個性豊かな二十名。入学当初の写真を見ながら、心も体も大きく成長したなど実感しています。特に春陽まつりの劇発表では、一致団結し、少ない人数を感じさせないような素晴らしい発表でした。

さあ、四月からは新たなスタートですね。みんなの周りには応援してくれる人がたくさんいます。いろいろなことにチャレンジしてください。皆さんの可能性は無限大です。

「中学部の思い出川柳」

中学部三年 国語一班

運動会 ぐるぐるリレー

負けてくやしい

明治なるほどフアクトリー

乳しぼり R1飲んだ

修学旅行 ジュラシックパーク

緊張したよ

海遊館 さかな ジンベエザメ

おかいもの

部屋でねた おふろに入った

ロッジ舞洲

練習がんばり 本番ドキドキ

春陽まつり



### 高等部

高等部主事 梶村 明

♪ゴールはここじゃない

まだ終わりじゃない

止むことのない歓声

あなたは先の方 ずっと先の方

追いつきたいなら今はトライ♪

三年生の皆さん、御卒業おめでとう

ございます。学校生活は、高等部卒

業とともに終わりますが、長い人生

はこれからがスタートです。明るく

楽しく、幸せな人生となるよう願っ

ています！そのためにも、感謝の気

持ちを忘れず、「ありがとう」「すみ

ません」と素直に言える人でいてく

ださい。



### 高等部生徒作文

社会人に向けて

高等部三年 中島 瑠巳



私は、一年生のときコミュニケーションを取ること、人が多いところが苦手でした。でも二、三年生になって少しずつ人とも話せるようになり、人が多いところにも行けるようになりました。まだ人前に立つことは苦手ですが、社会人になったら少しずつ改善できるように努力しようと思います。そして、誰からも愛される素敵な大人になりたいと思います。



### 校外学習(小二)

二月五日(水)、ナフコ不二屋坂下店へ、お菓子を買いに出掛けました。事前学習では、店員さんとお客

さんになってお買い物ごっこに取り組み、「好きなお菓子を買おうぞ！」と期待感いっぱい当日を迎えました。

店内見学では、親しみのある果物や野菜を見つけて「あつたよ」と喜ぶ姿が見られました。待ちに待った

買い物では、どの子も大きな買い物籠をしっかりと持ち、張り切ってお菓子コーナーへ向かいました。いろいろなお菓子をじっくりと見比べて、

食べたいお菓子を選ぶことができました。会計では、お金を落とさない

よう気を付けて支払ったり、おつりを受け取った

りして、練習の成果を発揮

することができました。自分

で買ったお菓子を食べる

ことを楽しみ

に持って帰りました。

ました。



### 校外学習(小四)

二月七日(金)、アピタ高蔵寺店へ校外学習に出掛けました。事前学習では売り場の様子や見学のときの約束などを学習し、実際に探検の練習もしました。もう一つの目的は、



フードコートでの外食です！注文や支払いの仕方、トレイの運び方と実際に近い形で練習をしていきました。

当日は、バスでの出発からドキドキの表情でしたが、店内の商品に興味津々で、学級ごとに仲良く見学す

ることができました。そしていよいよ昼食の時間。練習と違うものを選

んだり、恐る恐るトレイを運んだり、

という場面もありましたが、練習どおりはつきりと注文し、支払いも上

手にできました。

ミッシュンクリアの満足感の中、

みんな笑顔で

食事をし、帰

ってくるこ

ができました。

挨拶や順番の

待ち方などの

公共のマナー

も意識でき、

良い経験とな

りました。

りました。



### 校内実習(中一)

一月二十七日(月)から三十一日(金)までの五日間、校内実習がありました。雑巾班、仕分け班、農園芸班に分かれて行いました。雑巾班は、タオルをたたみ、しつけ縫いを



してミシンで仕上げ、雑巾を作りました。仕分け班は、シャンプーや化粧品サンプルの仕分けや、袋詰めを行いました。農園芸班は、野菜を育てるための土を作り、一輪車に乗せて農場などに運びました。初日は、緊張した様子でしたが、徐々に作業に慣れてきたり、出来高を意識して自分の目標を達成しようとしていたりするなど、頑張る姿が見られるようになりました。

実習を振り返りながら、頑張ったことや、今後何をしたいかなどを自分で考えました。また、実習の成果を中学部で報告しました。今回の実習を通して、大きな成果

が得られたとともに、新たな課題も見つかりました。これからの支援に生かしていきたいと思います。



**校内実習(中1)**

一月二十日(月)から二十四日(金)まで、雑巾班、袋詰め班、農園芸班の三つの班に分かれて校内実習

を行いました。毎日出勤簿から一日が始まり、それぞれの会社で、一人も欠席することなく五日間元気に勤めることができました。

「時間やルールを守ろう」「挨拶、返事をしっかりしよう」「出来高を意識してがんばろう」「丁寧に仕事をしよう」「友達と協力しよう」などの具体的な目標に向け、どの生徒もとてもはりきって生き生きとがんばり通すことができました。今回の経験で「働くこと」への見通しが少しもて、来年度の産業現場等における実習に前向きに取り組めることと思

います。実習期間中は保護者の方々の参観や、御家庭での様々な御支援や励ましなど、本当にありがとうございました。



**愛びっくバスケットボール大会**

十二月二十四日(火)春日井市総合体育館で行われ、スポーツ部男女が参加しました。男子は、初戦の守

山養護学校には圧勝しましたが、その後は負けてしまいました。女子は、昨年同様、決勝戦で春日井高等特別支援学校と対戦。善戦しましたが、惜しくも準優勝でした。この経験を今後に生かしてほしいです。たくさん応援や支援をありがとうございました。



**愛びっくフライングディスク大会**

一月十八日(土)豊川市総合体育館で行われ、男女十二名が出場しました。団体戦は十七位。個人戦は十七位に入賞しました。緊張感のある中、もてる力を発揮しました。この大会で得た経験を、今後の学校生活や社会生活に生かして



に生かして信じていきます。たくさん応援や御支援、ありがとうございました。

**愛びっくサッカー大会**

十一月九日(土)豊田市川端グラウンドで行われ、スポーツ部男子が参加しました。部員が九人のみのため、他校とは人数差がある中、しっかりと走って戦いました。結果は、二回戦、安城特別支援学校に敗れ、その後は大府もちのき特別支援学校にPK戦で勝利、春日井高等特別支援学校には敗れました。限られた練習時間の中、もてる力を十分発揮することができました。たくさんの応援、ありがとうございました。



**表彰者**

- 特別支援教育推進連盟被表彰児童生徒
- 後藤寛治 (小六)
- 中井美羽 (中三)
- 小林聖実 (高三)



### 31年度の学校評価

学校評価に関しましては、学校評議委員による外部からの御意見や、保護者による「保護者アンケート」の結果、また本校職員による「内部評価」を参考に評価結果等をまとめてあります。結果を真摯に受け止め、今後の学校運営、子どもたちの支援等に生かしてまいります。

項目	評価結果等について
基本的生活習慣 (幼小学部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月ごとにトイレの使い方についての目標を決めて取り組んだ。小学部玄関に目標を掲示したり、部朝会で教師と児童会役員と一緒に目標を発表し、全員で確認したりすることで、取組に対する意識が高まった。また、取組の様子を学年だよりで保護者に伝えたが、個々の様子については、連絡帳や懇談会等で具体的に伝えるようにした。今後も、学校と家庭で連携しながら、幼児児童の実態に合った支援を工夫していくことを継続していきたい。</li> </ul>
キャリア教育 (中学部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、挨拶運動を行ったことで、生徒一人一人の挨拶に対する意識が高まった。また、その様子を学年だよりなどで保護者に伝えたことで、部としての取組を理解していただいた。</li> <li>・身だしなみについては、生活委員会を中心に、部朝会や生徒会だよりで呼び掛けたことで意識を高めることができた。今後も生徒が主体となって、部全体で取り組んでいけるとよい。</li> </ul>
キャリア教育 (高等部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の現状と将来に意識を向け、学校と保護者が一貫した支援方法を共有する。</li> <li>・職業体験や校内実習、産業現場等における実習の評価をもとに、保護者と情報交換を行い、必要な力について共通理解を図る。</li> <li>・体験的な学習を通して、他者との関わりを増やし、社会生活へ円滑に移行できるようにする。</li> <li>・挨拶や正しい言葉遣いについて、模範となる態度を示していく。</li> </ul>
個に応じた支援 (施設内教育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内のデータ整理を行い、情報の共有が速やかにできるようにする。</li> <li>・施設内の行事や活動の様子を通信・メソフィアや朝礼などで知らせ、情報を発信し、施設内教育への理解促進を図っていく。</li> <li>・前籍校との連絡体制を整え児童生徒の実態把握をし、情報を共有していくように努める。</li> <li>・カンファレンス等を通じて児童生徒の情報共有ができた。関係諸機関や教職員間での共通理解を図り連携を密にして児童生徒の支援の充実を図っていききたい。</li> </ul>
渉外 (総務部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校務や事務、PTAと委員会を通して連携し、事業計画を進めてきた。</li> <li>・記念品は、高等部の生徒が授業で作成し、1000個完成予定である。</li> <li>・ペーパーウェイトを焼く窯が年度途中で故障してしまったため、学校職員への配付は年度末に行う。</li> <li>・来年度、同窓会で今年度卒業生以外に、記念誌、記念ファイル、記念品を配付する。</li> </ul>
学習指導 (教務部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科会を通して、グランドデザインを基に各教科の指導内容表について整理することで、職員の中での意識付けをすることができた。全職員のグランドデザインについての理解は十分とは言えないが、今後も周知徹底を図り、日々の支援や実践に生かしていく。</li> <li>・職業コースについても、教科会の中で情報交換を行い、共通理解をすることで日々の実践に生かすことができた。今年度は、Aタイプの生徒を対象に、医療療育総合センター内での職業体験を実施したが、来年度は対象をB類型まで広げたり、外部での職業体験を視野に入れた計画を立てたりしていく。</li> </ul>
防犯・防災 (指導部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な研修や訓練の実施により、その目的はある程度達成できたと思われる。</li> <li>・次年度以降はさらに工夫と改善を加え、より実際に即した内容にしていききたいと考える。</li> </ul>
より良い人間 関係の構築 (指導部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活アンケート(いじめアンケート)」については、高等部A類型「保健」の授業において、今年度も計画的に実施し、その結果は学年にフィードバックして個別の指導に役立てている。</li> <li>・次年度も全職員に対して、「いじめ防止基本方針」の周知を更に深めていきたい。</li> </ul>
健康・安全 (保健体育部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動では、WBGT(暑さ指数)を活用し、幼児児童生徒職員の健康安全、熱中症予防対策を実施する。水泳指導、部活指導も準ずる。</li> <li>・学校内で流行している感染症や、幼児児童生徒の様子を保健だよりや掲示物等を通して伝えることで、幼児児童生徒、職員また保護者の意識を高める。</li> </ul>
学校環境 (保健体育部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室等の環境で、修繕や調整に必要な教材、道具及び要領に関する対策をまとめる。</li> <li>・必要性の高い修繕項目から伝わりやすい項目のポイントを伝えるようにする。</li> </ul>
情報機器 (視聴覚部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットパソコン、ノートパソコンの更新に伴い、県からの情報が少ないため混乱は生じたが、何とか進めることができた。愛知県総合教育センターから講師を迎えて、研修も実施した。HDDのバックアップに関しては、そのためにさらに保存用のHDDが必要なこともあり、動画用、大容量データ用を全てバックアップすることは難しい。壊れたHDDも予兆は全くなく、工事業者による不手際もあって予測できなかった。</li> </ul>
読書活動 (視聴覚部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室の工事期間中は仮設図書室を準備する予定だったが、工期の変更で準備ができなくなった。図書室の本棚固定については、図書室の工事が終わった2学期始めがパソコン、タブレット端末の更新と重なり、さらに職員作業で行ったのでかなり時間がかかってしまった。年度末には全ての整理整頓が完了する予定なので、新年度から開室したい。</li> </ul>
教職員の研究・ 研修 (研修部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年、人権研修を教頭が行うが、来年度については外部講師への依頼を検討していく。</li> <li>・全校研究は、今年度から学校規模も縮小し、各部で新たな取組を行っている。各部で早急に取り組むべき内容で行っている。部同士の連携は報告などで行い、周知する形で取り組む。次回の研究テーマを検討する際は、各部、施設内が連携を取ることができるようなテーマも視野に入れていく。</li> <li>・現状では、教材教具を展示する教室の確保が難しい。また、教材・教具発表会は教材作成者から直接、作成においての工夫や苦労した点などを聞けることが良い。反省としても挙がっているので継続していきたい。</li> </ul>
自立と社会参加 (進路指導部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部玄関に進路の掲示板を設置し、保護者、職員へ情報を提示できるようにする。</li> <li>・タブレット端末のグーグルマップ上に進路のアカウントを設置し、春日井、小牧の福祉事業所、相談支援事業所を検索できるように整備したため、来年度より全職員がタブレット端末上で事業所情報を検索できるようにする。</li> <li>・来年度も企業や福祉事業所向けの学校見学会を実施し、本校の様子を見ていただくようにする。</li> <li>・職員室、中高進路掲示板、小学部進路掲示板を使用して、情報の発信及び共有ができるように努める。</li> </ul>
関係諸機関 との連携 (地域支援部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内支援については、引き続き関係諸機関と連携し、対応策を考えて取り組んでいく。</li> <li>・かわら版については、日常の支援に参考になる内容や、学校外で行っている地域支援部の支援活動についても知らせていきたい。</li> <li>・学校外で行われる研修で、校内支援に生かせそうな内容については、教材・教具発表会などの機会に伝えていきたい。</li> <li>・学校の改修工事が落ち着いたら、相談部屋の固定をお願いしていきたい。</li> </ul>
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点目標を達成するとともに、各部、各校務とも具体的方策を考え、工夫しながら取り組むことができた。今年度の反省を生かし、さらに改善に努めていきたい。</li> <li>・子どもの実態に配慮しながら、魅力ある学校づくりに努めることができた。</li> </ul>

---

---